

2019年9月3日 第287号

憲法共同センターNEWS

戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター
〒113-8462 文京区湯島 2-4-4 全労連会館 03-5842-5611 (FAX 5842-5620)
<http://www.kyodo-center.jp> mail: move@zenroren.gr.jp

各地の取り組みを紹介します。

●兵庫

「『津田大介さんの神戸シンポ中止』問題を考えるつどい」を開催

「表現の自由を守れ」愛知より、神戸中止の方が深刻！

参加者から、いっぱい意見

「『津田大介さんの神戸シンポ中止』問題を考えるつどい」が、8月31日、三宮勤労会館で開かれ、会場に立ち見が出る160人の参加で熱気につつまれました。つどいは、まず2人の神戸市議員から経過の解説、次いで立命館大学伊藤講師が「表現の自由とヘイト問題」題してスピーチし、会場発言で討論。最後に神戸市民へのアピール「だれもが、自由に表現でき自由に受けとることのできる街にしましょう」を盛大な拍手で採択しました。



【日本共産党・味口としゆき議員の発言】8月9日の申し入れ時、担当職員の反応では、「意見は100数十件、脅迫はなかった」、14日の市民参画推進局、神戸市民文化振興財団からの返答では、久元市長はどう対応したのかと訊ねると、「うーん」「分かった」「情報収集しなさい」としか言われず、「表現の自由」を守るための積極的対応はしなかった。神戸市長、神戸市当局は、2017年に制定された「文化芸術基本法」に基づいて「表現の自由」を守る為に対処すべきだ。この法律は、2001年に議員立法で制定された「文化芸術振興基本法」を16年ぶりに改正したもの。法律前文では「文化芸術の礎たる表現の自由の重要性を深く認識し」と「表現の自由」が加えられたが私たち日本共産党は、このとき「表現の自由」の明記を主張した。さらに1980年ユネスコの「芸術家の地位に関する勧告」も日本は批准しているので、こういう点を軸に市長や当局に迫っていく。また、文化政策の用語である「アームズ・レングスの原則」、つまり「金を出しても口はださない」というヨーロッパなどで確立している原則を踏まえ、行政や政治家などの介入をしないことも求めていく。

【伊藤健一郎立命館大学講師】各地のレイシストたちによるヘイトスピーチが飛び交う現場へ出向き、その実態をつぶさに研究している。彼らも「表現の自由がある」と真っ向憲法を使ってくる。私は「いつも2+2=4」と真実を述べる。だが右翼ヘイターは「2+2=6かも知れない、とか4にならないかも」と事実・真実を必ず歪曲する。だからこそ歴史認識をしっかりと持たないと論争に負ける。この2019年8月は特に韓国問題（徴用工、慰安婦、歴史認識、GSOMIAなど）で歴史の転換点なるのかも知れない。自民党の石破氏でさえ「歴史認識が背景にある」と言っている。これに名古屋や神戸が巻き込まれた。世界的に見ても安倍政権は「歴史認識逸脱」のカルト集団のようだ。私たちはあらゆることで「ウソを言ったらダメだ」と真実を語り続けよう。

参加者から14人が発言しました（紹介一部）。

☆愛知と神戸では質が違うと思う。愛知は表現の自由そのものだが、神戸は憲法19条の否定と思う。

☆神戸市は、文化都市宣言しているのにそれを今回違反したと思う。

☆井戸知事の発言は県会で糺明すべきだ。

☆毎日やられているテレビのワイドショー、ずっと嫌韓・嫌中でなんとかならないか。
☆慰安婦問題を否定してしまうと、日本の国は女性の人権を守らない国だと世界から非難される。
☆兵庫県弁護士会もいまこの問題の見解を作成中。
☆河村名古屋市長・松井大阪市長の発言、どちらも公務員で、表現の自由を守るべき立場を逸脱している。
☆ヘイター・レイシストには表現の自由はない筈だ。各地で共同してたたかおう。
(憲法改悪ストップ兵庫県共同センター週刊ニュースより)

●埼玉

大野知事誕生、「自公県政許さない」 改憲阻止、衆院選にも大きな展望

8月25日投開票で実施された埼玉県知事選は、立憲、国民、社民、共産の野党4党が支援した大野元宏氏が、自民、公明党推薦の青島健太氏を破って初当選を果たしました。「野党共闘効果で勢い」(読売)、「野党共闘に弾み」(東京)とマスコミ各社が報道している通り、「次期衆院選に大きな展望を切り開く」(国民・玉木代表談)ことが出来ました。「県民が主役」の政策を掲げた大野知事に期待が高まっています。

市民と野党の共闘は、参院選で与党勢力を3分の2以下に追い込み、埼玉県知事選でも、基礎票(参院比例)では、青島候補が約128万、大野候補120万と約8万票の差をつけられていたのを逆に6万票差で勝利しました。自民県連会長の新藤義孝氏は「県民が野党の連合を望んだことに尽きる」と敗戦の弁。この経験を次のたたかいに生かすため「学習交流会」に参加を。

(埼玉憲法会議ニュースより)

●憲法運動学習交流集会

日時 9月24日(火)午後6時30分～

場所 埼玉教育会館2階

国会情勢報告 日本共産党・伊藤岳参議院議員

講演 「どこまで来た市民と野党の共闘」

小田川義和・総がかり行動実行委員会共同代表(全労連議長)

主催 埼玉憲法会議

★当面の日程

◆総がかり行動「19日行動」

9月19日(木)18時30分～ 国会議員会館前

10月19日(土)15時～ 国会議員会館前

◆日朝ピョンヤン宣言17周年

「朝鮮半島と日本に非核・平和の確立を!日朝国交正常化交渉の再開を!」

9月17日(火)18時30分開会(18時開場)文京区民センター3A

http://www.kyodo-center.jp/wp-content/uploads/2019/07/190917syuukai_chirashi.pdf

◆憲法共同センター第6回総会

9月27日(金)18時～20時30分 全労連会館2階ホール

記念講演 渡辺治一橋大学名誉教授

<http://www.kyodo-center.jp/wp-content/uploads/2019/08/20190927soukai.pdf>